



## Monthly Fund Manager Report

2006年9月29日

愛称

# 杏あんずのみの実



## ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン(毎月分配型)

### ファンド概要

分類	= 追加型株式投資信託 / バランス型
当初設定日	= 2003年6月13日
信託期間	= 無期限
決算日	= 毎月15日(休業日の場合、翌営業日)
信託報酬	= 年率1.3125%(税込)
お買付単位	= 販売会社が定めます。
申込手数料率	= 販売会社が定めます。

### ファンドの特色

主としてオーストラリア・ドル建ておよびニュージーランド・ドル建ての公社債などに投資します。

為替については、オーストラリア・ドル建ておよびニュージーランド・ドル建ての資産の投資比率の合計を信託財産の純資産総額の100%に近づけることを基本とします。

毎月決算を行ない、安定した分配をめざします。

## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

<http://www.daiwa-am.co.jp/>

### 当資料のお取扱いにおけるご注意

- ※当資料は、受益者の皆さまに対して当ファンドの運用状況をお知らせするために作成されたものであり、証券取引法に基づく開示資料ではありません。
- ※当資料は、各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性が保証されているものではありません。
- ※当資料中で記載されている内容、数値、図表、意見等は当資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。
- ※分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- ※当資料中における運用実績等は、過去の実績および結果を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

## 基準価額と純資産の推移



基準価額 10,087 円  
純資産 3,328 億円

### 期間別騰落率

期間	ファンド	豪ドル	NZドル
1か月間	-0.47%	-1.52%	+0.47%
3か月間	+6.14%	+3.28%	+9.84%
6か月間	+6.29%	+4.76%	+6.80%
1年間	+5.46%	+2.36%	-1.88%
3年間	+30.87%	+16.95%	+16.25%
5年間	-----	-----	-----
設定来	+23.11%	+12.28%	+12.51%

### 分配金(税引前)

決算期	第1期	第2期	第8期	第9期	第24期	第25期	第31期	第32期	第38期	第39期	設定来 分配金累計
決算日	(03.7)	(03.8) ~	(04.2)	(04.3) ~	(05.6)	(05.7) ~	(06.1)	(06.2) ~	(06.8)	(06.9)	
分配金	20 円	40 円	40 円	50 円	50 円	55 円	55 円	60 円	60 円	65 円	<b>1,970 円</b>

### [先月中の分配金再投資基準価額変動の要因]

8/31 12,369 → 9/29 12,311 変化 -58

	債券	為替	その他	合計
豪ドル	113 円	▲ 165 円	-	▲ 52 円
NZドル	9 円	▲ 2 円	-	6 円
その他	-	-	▲ 12 円	▲ 12 円
合計	122 円	▲ 168 円	▲ 12 円	▲ 58 円

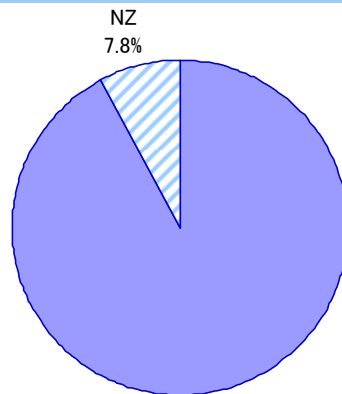
※上記の額は、ベビーファンドにおける変動額の概算値であり、正確性を保証するものではありません。  
円未満は四捨五入しています。「その他」とは信託報酬や設定・解約の影響などによるものです。

### ポートフォリオの性格

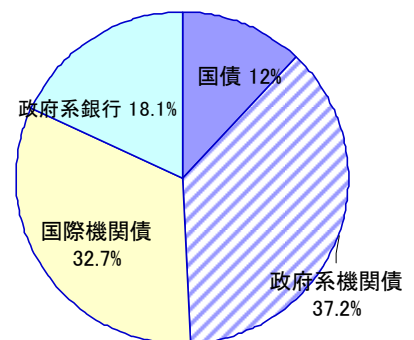
平均修正デュレーション	4.31
平均格付け*	AAA
平均利回り(終利)	6.02%
平均利回り(直利)	6.28%

平均格付け\*  
個別銘柄の格付けをBloomberg方式に基づき数値化し、各銘柄のウエイトで加重平均して算出しています。

### 通貨別構成比率(%)



### 種類別債券構成比率(%)

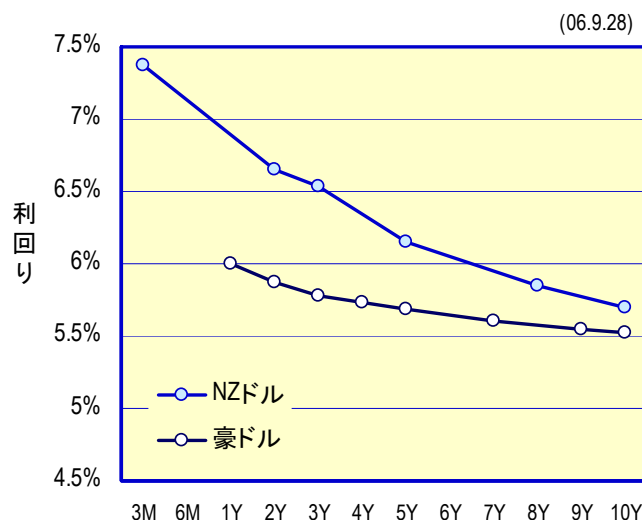


### 格付別投資比率(%)

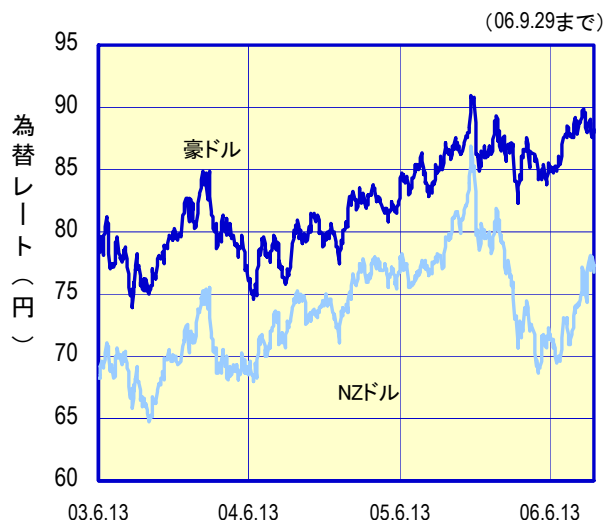
AAA	100%
AA	0%

- ※ 上記グラフの「分配金再投資基準価額」とは、収益分配金(税引前)を分配時にファンドへ再投資したものとみなして修正した価額です。
- ※ 上記の「期間別騰落率」は、「分配金再投資基準価額」の騰落率です。また、投資家利回りとは異なります。
- ※ 分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- ※ 為替レートは三菱東京UFJ銀行の対顧客電信相場仲値におけるものです。
- ※ 基準価額の計算において信託報酬(純資産総額に対して年率1.3125%(税込))は控除されております。
- ※ 上記の格付け優先順位は、ムーディーズ社、S&P社、フィッチ社の順です。
- ※ 上記の構成比率は、現金を除いた債券ポートフォリオにおけるものです。デュレーション、利回りは、債券ポートフォリオにおける加重平均です。
- ※ 構成比率は四捨五入の影響で100%にならないことがあります。

国債利回り



為替レート推移



出所=ブルームバーグ

ファンドマネージャー・コメント

<豪州>

今月は、米国を中心とした海外債券市場動向に左右される一カ月でした。その米国では、政策金利切り上げの停止が長引く中、景気の減速を示す経済指標が見られるようになり、市場では政策金利の早期引き下げ観測も浮上しました。中長期的な景気減速、インフレ下落の思惑から米国では長期債中心に金利低下し、豪州債も、米国債との金利差が開いた水準では割安感がみられ、投資家の買い需要を集めました。豪州長期債利回りは、短期債利回りをさらに下回る結果となりました。

豪ドル相場は下落しました。金利差に着目したグローバル投資資金の動きは依然活発で、相対的に高金利水準にある豪ドルは対円で下支えされました。しかし、原油など商品価格が下落を見せたことは、鉱物資源輸出国通貨である豪ドルにはマイナス材料となり、豪ドルは軟調に推移する結果となりました。

<ニュージーランド>

ニュージーランド債券市場も、中長期的な景気減速、利下げ観測は根強く、海外市場での利回り低下の影響を受け長期債中心に金利が低下しました。一方、RBNZ(ニュージーランド準備銀行)はインフレ警戒姿勢を示しており、近いうちでの利下げは考えづらいことから、短期債利回りは比較的高止まり、長期債利回りは短期債利回りをさらに下回る結果となりました。

ニュージーランド・ドル相場は堅調でした。先進国間で相対的に高金利水準にあるニュージーランド・ドルは、金利差に着目したグローバル投資資金の恩恵を最も受ける通貨となりました。拡大する経常赤字、政府高官の利上げや通貨高へのけん制発言など、ニュージーランド・ドル売りの材料も散見されたものの、大きな下落には至らず、対円で堅調を維持しました。

このような投資環境下、マザーファンドのポートフォリオの修正デュレーションを全体で4.0を中心にコントロールし、月末には4.31としました。今後も修正デュレーションはリスクターンを考慮して4.0を中心に機動的にコントロールします。クレジットリスクについては極めて限定的なものにとどめ、ポートフォリオは国債、州債、国際機関債、政府保証債で構築されています。

(公社債運用部:森 一哉 2006.10.2作成)

## ファンドの特色

- 主として、「ハイグレード・オセアニア・ボンド・マザーファンド」の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。
- 主としてオーストラリア・ドル建ておよびニュージーランド・ドル建ての公社債(各種の債権や資産を担保・裏付けとして発行された証券を含みます。以下「公社債等」)ならびにコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。各通貨圏別の投資比率は、それぞれの債券市場の規模などを勘案して決定します。
- 投資対象の格付けは、取得時においてAA格相当以上(ムーディーズでAa3以上またはS&PでAA-以上もしくはフィッチでAA-以上)とすることを基本とします。

信用度	ムーディーズ社	S&P社	フィッチ社
高い	Aaa	AAA	AAA
	Aa	AA AA+	AA AA+
	Aa2	AA	AA
	Aa3	AA-	AA-
低い	A	A	A
	Baa	BBB	BBB
	Ba	BB	BB
	B	B	B
	Caa	CCC	CCC
	Ca	CC	CC
	C	C	C
			DDD
			DD
			D

杏の実投資対象  
投資対象の格付けは、取得時においてAA格相当以上とすることを基本とします。

- 投資する公社債等は、国家機関(政府・州等を含みます)、国際機関等もしくはそれに準ずると判断される機関およびそれらの代理機関等が発行・保証するものとします。
- ポートフォリオの修正デュレーションは、3(年)程度から5(年)程度の範囲を基本とします。
- 金利リスク調整のため、オセアニアの通貨建ての国債先物取引等を利用することがあります。
- 毎月15日(休業日の場合、翌営業日)に決算を行ない、安定した分配をめざします。
  - ▶ 分配対象額は、経費控除後の配当等収益および売買益(評価益を含む)等です。
  - ▶ 原則として、配当等収益等を中心に安定した分配を継続的に行なうことを目標に分配金額を決定します。なお、「分配金支払いコース」と「分配金再投資コース」があります。
- 為替については、オーストラリア・ドル建ておよびニュージーランド・ドル建ての資産の投資比率の合計を信託財産の純資産総額の100%に近づけることを基本とします。



※当ファンドは、マザーファンド方式にて運用しております。

大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。

# ハイグレード・オセアニア・ボンド・オープン（毎月分配型）（愛称：杏の実）

## 追加型株式投資信託／バランス型

お申込みの際は必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの特色	<p>1. 主として「ハイグレード・オセアニア・ボンド・マザーファンド」（以下「マザーファンド」といいます）の受益証券に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。 ●当ファンドは、マザーファンド方式で運用を行ないます。</p> <p>2. マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の90%程度以上に維持することを基本とします。</p> <p>&lt;マザーファンドの投資態度&gt;</p> <p>A) 主としてオーストラリア・ドル建ておよびニュージーランド・ドル建ての公社債（各種の債権や資産を担保・裏付けとして発行された証券を含みます。以下「公社債等」といいます）ならびにコマーシャル・ペーパー等の短期金融商品に投資することにより、安定した収益の確保および信託財産の着実な成長をめざして運用を行ないます。</p> <p>B) 公社債等への投資にあたっては、以下のような点に留意しながら運用を行なうことを基本とします。</p> <p>i. 投資対象の格付けは、取得時においてA A格相当以上（ムーディーズでA a 3以上またはS &amp; PでA A-以上もしくはフィッチでA A-以上）とすることを基本とします。</p> <p>ii. 投資する公社債等は、国家機関（政府・州等を含みます）、国際機関等、もしくはそれらに準ずると判断される機関およびそれらの代理機関等が発行・保証するものとします。</p> <p>iii. ポートフォリオの修正デューレーションは、3（年）程度から5（年）程度の範囲を基本とします。</p> <p>iv. 金利リスク調整のため、オーストラリア・ドル建ておよびニュージーランド・ドル建ての国債先物取引等を利用することがあります。</p> <p>C) オーストラリア・ドル建公社債等とニュージーランド・ドル建公社債等の投資比率は、それぞれの債券市場の規模などを勘案して決定します。</p> <p>D) 為替については、オーストラリア・ドル建ておよびニュージーランド・ドル建ての資産の投資比率の合計を信託財産の純資産総額の100%に近づけることを基本とします。</p> <p>E) 有価証券取引、為替・短期資金取引の相手方の選定は、委託会社の社内規則に則って行ないます。</p> <p>◇大量の追加設定または解約が発生したとき、市況の急激な変化が予想されるとき、償還の準備に入ったとき等ならびに信託財産の規模によっては、上記の運用が行なわれないことがあります。</p>
---------	---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

### お申込みメモ

お買付単位	最低単位を1円単位または1口単位として販売会社が定めます。（注）
お買付価額 （1万口当り）	申込受付日の翌営業日の基準価額
お買付時の 申込手数料	販売会社が定めます。（注）
お買付け・ご換金のお申込み	お買付け・ご換金のお申込みの受付は、営業日の午後3時まで（年末年始など半休日の場合には、午前11時まで）とさせていただきます。この時刻を過ぎてのお申込みは、翌営業日の取扱いとなります。 ※シドニー先物取引所の休業日と同じ日付の日には、お買付け・ご換金のお申込みの受付は行ないません。
収益分配方法	毎月15日（休業日の場合、翌営業日）の決算時に収益分配方針に基づき分配を行ないます。なお当ファンドは、「分配金再投資コース」と「分配金支払いコース」があります。（注） ◎「分配金再投資コース」をご利用の場合：収益分配金は、税金を差引いた後、無手数料で自動的に再投資されます。 ◎「分配金支払いコース」をご利用の場合：収益分配金は、税金を差引いた後、原則として決算日から起算して5営業日目以降にお支払いします。
信託期間	無期限 ※ただし、受益権の口数が30億口を下回った場合等には、信託を終了させることがあります。
信託報酬	純資産総額に対して年率1.3125%（税込）

（注）販売会社または委託会社にお問合わせください。また、委託会社のホームページでご覧になることもできます。

### 委託会社、その他の関係法人

委託会社 （設定・運用等）	大和証券投資信託委託株式会社 ・お電話によるお問合わせ先 電話番号 03-5643-5265（営業日の9:00～17:00） ・委託会社のホームページ アドレス <a href="http://www.daiwa-am.co.jp/">http://www.daiwa-am.co.jp/</a>
受託会社 （信託財産の管理等）	りそな信託銀行株式会社
販売会社 （募集の取扱い等）	委託会社にお問合わせになるか、委託会社のホームページをご覧ください。

### 投資リスク

#### 価額変動リスクについて…

当ファンドは、公社債など値動きのある証券（外国証券には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。委託会社の指図に基づき行為により信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資家の皆さまにおかれましては、当ファンドの内容・リスクを充分ご理解のうえお申込みくださいますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

#### ①公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）

公社債の価格は、一般に金利が低下した場合には上昇し、金利が上昇した場合には下落します（値動きの幅は、残存期間、発行体、公社債の種類等により異なります）。また、公社債の価格は、発行体の信用状況によっても変動します。特に、発行体が財政難、経営不安等により、利息および償還金をあらかじめ決定された条件で支払うことができなくなった場合（債務不履行）、またはできなくなるが予想される場合には、大きく下落します（利息および償還金が支払われないこともあります）。組入公社債の価格が下落した場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

#### ②外国証券への投資に伴うリスク

イ. 為替リスク  
外貨建資産の円換算価額は、資産自体の価格変動のほか、当該外貨の円に対する為替レートの変動の影響を受けます。為替レートは、各国の金利動向、政治・経済情勢、為替市場の需給その他の要因により大幅に変動することがあります。組入外貨建資産について、当該外貨の為替レートが円高方向に進んだ場合には、基準価額が下落する要因となり、投資元本を割込むことがあります。

当ファンドの主要投資対象である「ハイグレード・オセアニア・ボンド・マザーファンド」において、為替については、オーストラリア・ドル建ておよびニュージーランド・ドル建ての資産の投資比率の合計を信託財産の純資産総額の100%に近づけることを基本とします。また、当ファンドにおいて、マザーファンドの受益証券の組入比率は、通常の状態では信託財産の純資産総額の90%程度以上に維持することを基本とします。このため基準価額は、オーストラリア・ドル・円レートおよびニュージーランド・ドル・円レートの変動の影響を直接受けます。

#### ロ. カントリー・リスク

投資対象国・地域において、政治・経済情勢の変化等により市場に混乱が生じた場合、または取引に対して新たな規制が設けられた場合には、基準価額が予想外に下落したり、方針に沿った運用が困難となることがあります。

#### ③その他

イ. 解約申込みがあった場合には、解約資金を手当てするため組入証券を売却しなければならないことがあります。その際、市場規模や市場動向によっては市場実勢を押し下げ、当初期待される価格で売却できないこともあります。この場合、基準価額が下落する要因となります。

ロ. ファンド資産をコール・ローン、譲渡性預金証券等の短期金融商品で運用する場合、債務不履行により損失が発生することがあります（信用リスク）。この場合、基準価額が下落する要因となります。

■当資料は、大和証券投資信託委託株式会社により作成された販売用資料であり、証券取引法に基づく開示書類ではありません。当ファンドの取得のお申込みの際には目論見書をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りの上、詳細は目論見書をご覧ください。■当ファンドは、公社債など値動きのある証券（外国証券には為替リスクもあります）に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。■信託財産に生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。投資に関する最終決定はお客さまご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。■分配金額は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。■証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。